

【学校教育目標】

自分や人のよさを認め、
自ら学び、共に育ついつまっ子の育成

【学校の重点目標】

○自立探求能力(自らの力で、答えや価値あるものを探し求める力)の育成
○言語能力の育成



≪ 咸宜園教育の理念を生かした学校経営 ≫ 「明日も、学校に行きたいな」と思う今日を創る学校

「咸宜」

一人ひとりの個性を尊重する教育活動の実践

「放学遊山」

家庭・地域・学校で夢中になって学び育つ教育活動の実践

「師弟同行」

子どもも教職員も、共に学び育つ教育活動の実践

学校の重点目標達成に向けた具体的な取組

自律した学習習慣の定着

○教員アンケート「児童はいつまっ子学びの3点チェックを守ることができている」と回答する教員のA評価80%以上にする。
○児童アンケート「いつまっ子学びの3点チェックを守ることができている」と回答する児童のA評価70%以上にする。
・万善簿を活用し、主体的に授業に臨み、進んで学習する態度を育む。
・家庭学習週間を月1回設定し、保護者は子どもの家庭学

読解力の向上

○国語の単元テストで、学期平均点80点以上の児童数の割合を70%以上にする。
・ドリルタイムを活用し、週1回言語活動に取り組み、語彙力を高め、書く力を育む。
・Qubenaの日常的な活用
・読解力向上に関し校内研究を深め、授業改善に取り組む。
・家庭では、月二回「ファミリー読書」と学期に1回の「リレー式親子読書」と「親子絵日記」に取り組む。
・地域では、学期に1回以上、読み聞かせボランティアによる読

自分で考え行動・協働する力の向上

○児童アンケート「疑問に思ったことを解決するために進んで取り組むことができた」のA評価を50%以上にする。
○児童アンケート「目標を達成するために、友達と協力して取り組んだ」の肯定的評価を80%以上にする。
・学期に1回、生活・総合的な学習の時間等で探究する場を設定する。
・毎月1回全校で生活目標について話し合う場を設定し、指導する。
・月二回家庭学習週間を設定し自学の取組を行う。
・家庭では、家庭学習週間時に、子どもに声掛けを行う。
・地域では、週1回以上、学習支援ボランティアによる支援を行う。

特色ある学校づくりと諸課題の解決に向けた積極的な地域との連携 ～コミュニティ・スクールの推進～

学習支援

○読み聞かせ活動の実施
○保護者や地域住民と共に学ぶ人権講演会の実施
○生活科等における体験活動の充実
○総合的な学習の時間における探究的な学習の充実
○クラブ活動等における公民館活動との連携
○家庭学習における保護者の見守り、支援

防災教育・安全管理

○学校運営協議会での危険箇所等に関する情報の共有
○危機管理マニュアルの共有及び随時見直し
○計画的な防災学習・訓練の実施(保護者、地域住民、天瀬振興局、公民館、児童クラブとの連携)
○登下校における安全管理(駐在所との連携)
○低学年児童の放課後見守りの検討(児童クラブとの連携)

咸宜園教育・ふるさと学習

○「広瀬淡窓」や地域の先哲「長三州」「穴井六郎衛門」に関する学習の計画的な実施(3学年・6学年)
○咸宜園教育に倣う「万善簿」の取組充実
○地域教材・人材を活用した、五馬市・本城・塚田・出口の産業(林業・農業・福祉等)や歴史に関する学習の推進(いつま観来会、天ヶ瀬温泉つなぐ会等との連携)

キャリア教育

○多様な人々や生き方に出会う機会の充実、キャリア教育の推進(五馬市シニアクラブ・いでぐち交流館・塚田地区老人クラブ等との連携)
○「キャリアノート」の活用(保護者との連携)

学校の諸課題を地域と共有し、積極的に地域人材を活用する